

2024年11月

2025年3月期 第2四半期（中間期） (2024年4月1日～2024年9月30日) 決算説明資料

ディービーエックス株式会社



1

当第2四半期（中間期）のハイライト

3

2

当第2四半期（中間期）の決算概況

9

3

2025年3月期の見通し

23

1

当第2四半期（中間期）のハイライト

方針

① 利益率、生産性向上

- 高利益率商品の売上高構成比のUP
- インセンティブ・一括買取の推進
- DX推進による事務フローの自動化と省力化
- 基幹システム改善による物流と販売管理機能の強化

全社粗利率：前期上期 10.3% → 当期上期 10.0%

特定保険医療材料の償還価格下落の影響

粗利率の低い新商品への切り替えにより低下

償還価格の改定があったが、インセンティブは前年上期とほぼ同額を獲得

高利益率商品であるRAQUOSを含む自社企画商品の売上高は、

前年同期比11.4%増となり、売上高構成比は0.2ポイント増加

前期上期：2.7% → 当期上期 2.9%

DX：販売管理システム構築プロジェクト

業務効率化と生産性向上を目指すと共に、働き方や組織体制の強化を行うことを
目標とする

方針

2

地域依存度低減

- 施設拡大、品目拡大
- 主要大学、主要病院の新規獲得
- 事業単位での配賦後営業利益黒字化

施設拡大

新規施設：23 喪失施設：17

※新規施設：前期下期売上実績無し、上期売上高1百万円以上／喪失施設：前期下期売上高1百万円以上、上期売上実績が無い

売上倍増施設：6 売上半減施設：8

※売上倍増施設：上期売上高が前期下期に対して200%以上かつ10百万円以上増加

売上半減施設：上期売上高が前期下期に対して50%以下かつ10百万円以上減少

営業基盤の強化

島根出張所、沖縄出張所をそれぞれ営業所に昇格

関東エリアの売上割合

売上割合 (%)	2022/3期	2022/3期	2023/3期	2023/3期	2024/3期	2024/3期	2025/3期
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期
関東エリア	63.2	62.7	63.4	63.9	61.8	61.5	60.9

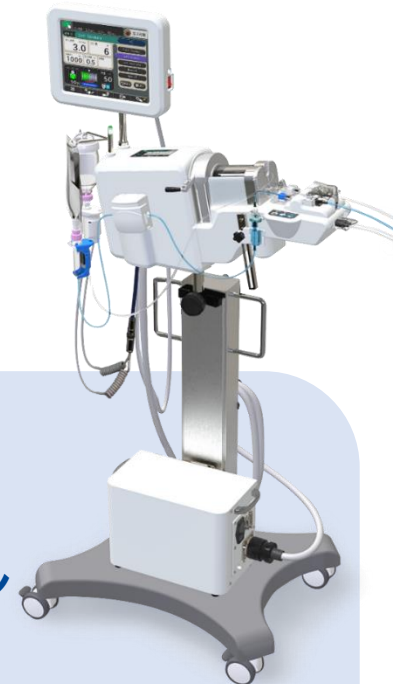
方針

③ 強靱な事業ポートフォリオの構築

- 輸入商社機能の強化
- ニーズ志向の製品探索と導入
- RAQUOS事業推進
- オンリーワン商品、自社企画品の販売拡大
- M&A、投資の推進

RAQUOS事業

- ・国内トップシェアを目指す自社企画商品
- ・本体を販売（設置）後に消耗品を継続的に販売するビジネスモデル
- ・上期売上高 前年同期比22.7%増



造影剤自動注入装置 RAQUOS
自社企画商品（製造は委託）

売上推移	2022/3期	2022/3期	2023/3期	2023/3期	2024/3期	2024/3期	2025/3期
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期
売上高（百万円）	1	25	54	81	90	107	110

医療機器開発のスタートアップ企業への出資（2024年10月）

方針

4

新たな成長基盤の強化（市場）

- 国内シェアNo1に向けたRAQUOS事業の推進
- 海外市場の開拓（アジア向けから）
- R-SUD事業、リサイクル事業の確立
- 営業部門と技術部門の連携による新製品発掘

R-SUD事業（使用済みSUDの収集～再製造～販売）※当社は収集、販売

2024年6月の診療報酬改定により、新たに診療報酬が加算される制度が導入されたことにより、R-SUDの使用が増加している

- ・回収先施設数 202（前期末182）
- ・販売先施設数 48（前期末37）

カテーテルリサイクル事業（使用した医療機器から有価物を抽出してリサイクルする）

- ・回収先施設数 71（前期末64）

RAQUOS海外展開

2024年9月11日～13日開催のMEDICAL FAIR ASIA 2024へ出展

海外展開：2026年9月頃上市予定（台湾、韓国）

方針

5

成長基盤の強化（組織）

- E:DX推進によるペーパーレス化、ガソリン消費量の削減、環境保全に配慮した事業活動
- S:ダイバーシティ推進、ワークスタイル変革、働き甲斐のある職場環境の整備
- G:コーポレートガバナンス強化、コンプライアンス推進、内部統制の適切な運用、透明性の高い情報開示

女性活躍・働き方改革

働き方見直しプロジェクト

- ・女性活躍促進法に基づき女性従業員の働きやすさ向上のための活動
- ・最終的には男性従業員を含めた全従業員の働きやすさ向上のための活動

人的資源の活用

人的資源プロジェクト

- ・人的資本経営及びESG経営社会（Social）分野における施策の促進
- ・人的資源の活用および社員が働き続けたいと思える職場環境の整備

経営戦略室の新設

中期経営計画、M&Aおよびアライアンス、サステナビリティ経営など会社全体の成長戦略を策定し、持続可能な経営を推進する役割

2

当第2四半期（中間期）の決算概況

要約損益計算書（中間会計期間）

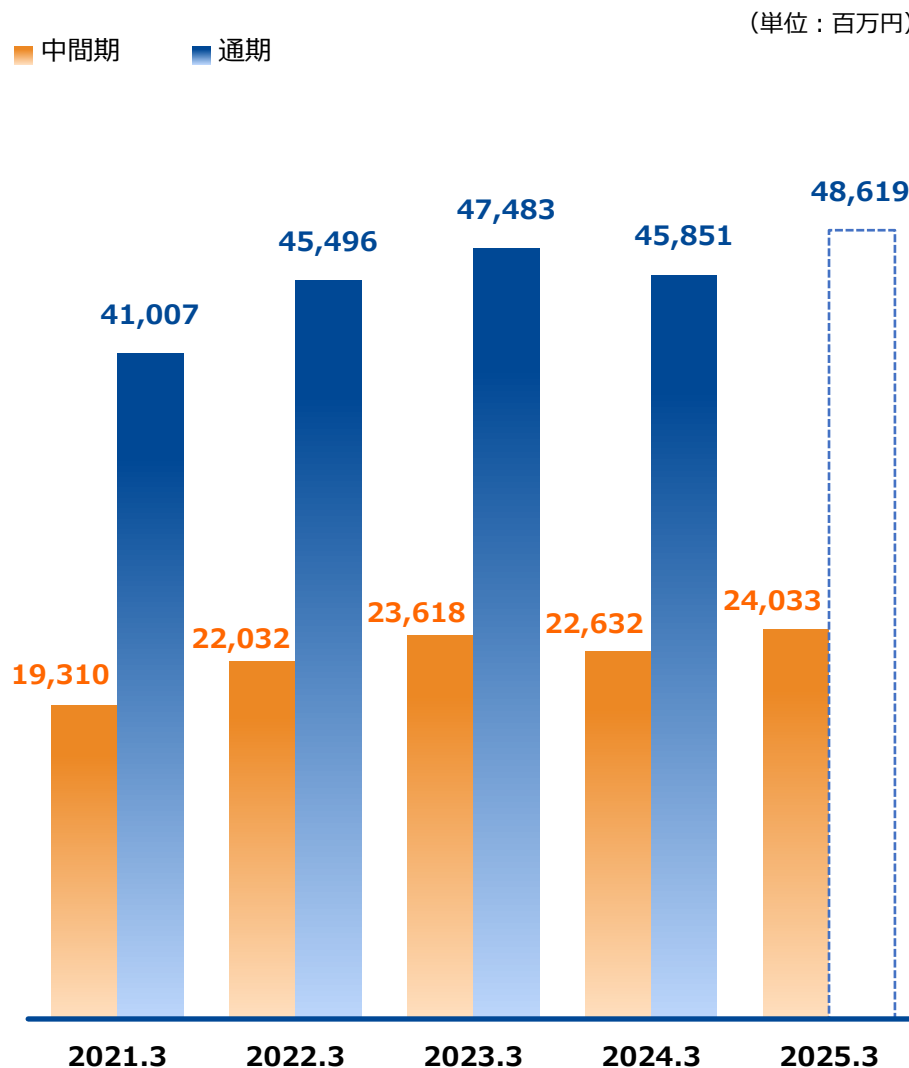


	実績 (百万円)	対売上高 (%)	前年同期実績 (百万円)	前年同期比 (%)
売上高	24,033	100.0	22,632	+ 6.2
売上総利益	2,394	10.0	2,332	+ 2.7
販管費	2,217	9.2	2,008	+ 10.4
営業利益	177	0.7	323	▲45.2
経常利益	176	0.7	330	▲46.6
中間純利益	115	0.5	233	▲50.3

売上高 **240.3**億円

前年同期比 **6.2%増** 

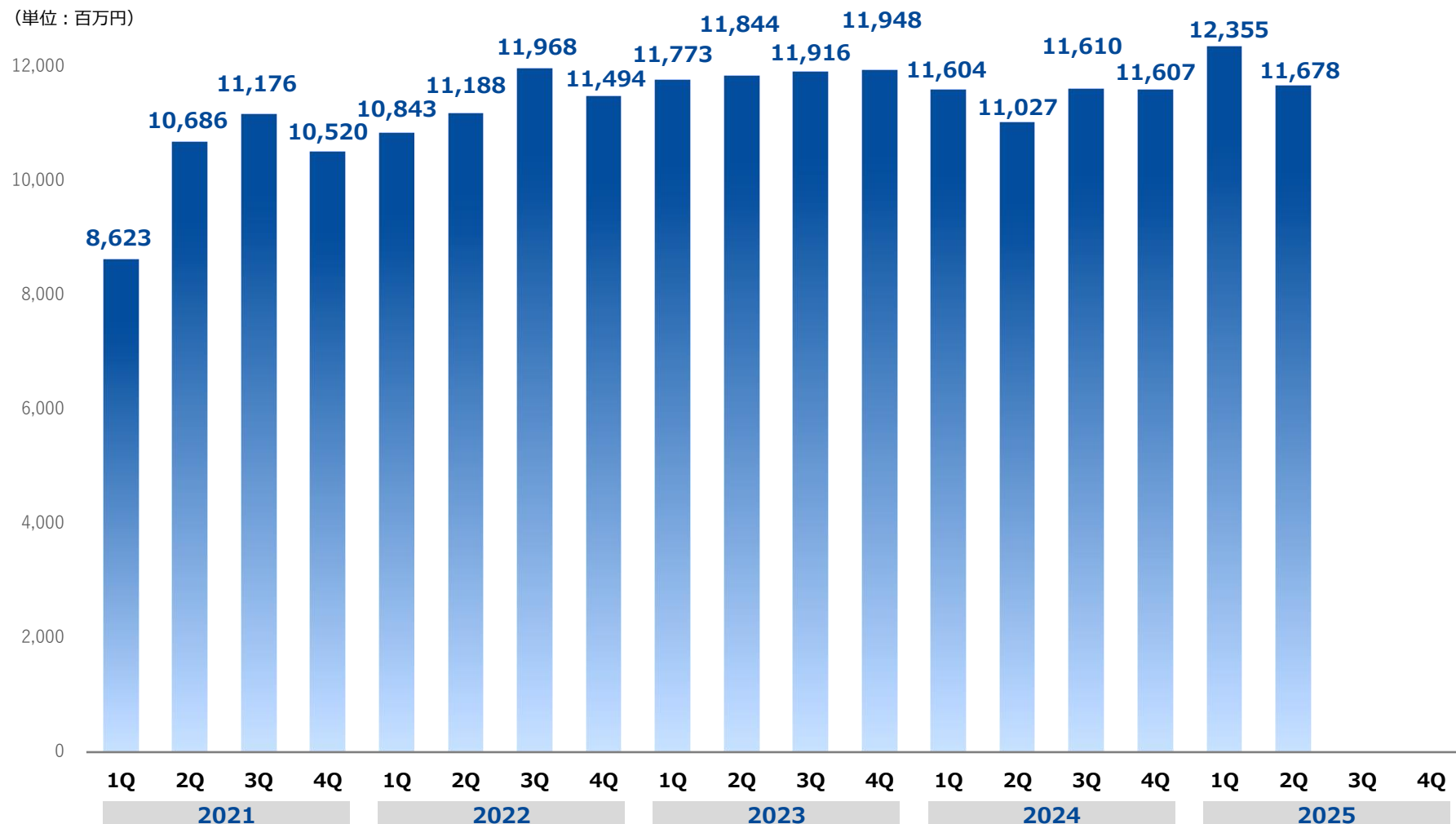
事業区分	実績 (百万円)	前年同期比 (%)
不整脈	20,446	+4.9
虚血	1,399	+20.9
その他	2,187	+9.9
合計	24,033	+6.2



四半期毎売上高の推移



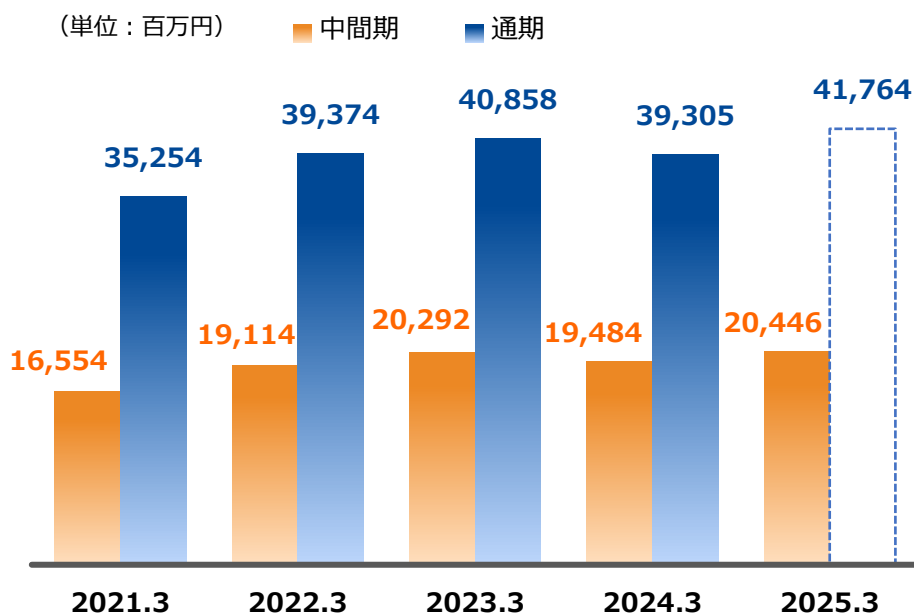
(単位：百万円)



売上高 204.4億円

前年同期比 4.9%増 

- 症例が増加
- PFAカテの販売が開始



	実績 (百万円)	前年同期 (百万円)	前年同期比 (%)
PM	1,979	1,913	+3.4
ICD	1,177	1,202	▲2.1
CRT-D	889	839	+5.9
電極カテーテル	5,905	5,640	+4.7
心腔内エコーカテ	2,210	2,053	+7.6
ABL機能付	3,017	2,970	+1.6
ABLカテーテル	130	155	▲15.8
冷凍ABLカテ	1,452	1,296	+12.0
PFAカテ	52	—	—
その他	3,632	3,412	+6.5
合計	20,446	19,484	+4.9

売上高 13.9億円

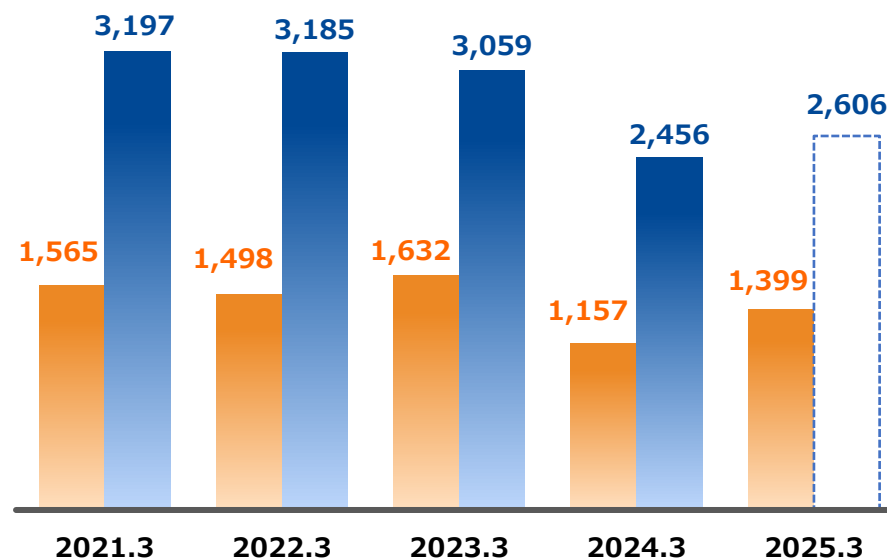
前年同期比 20.9%増 

- レーザー事業は総販売元としての取扱い終了により減少傾向
- その他では経皮的血管形成術用穿刺部止血材料の販売が好調

(単位：百万円)

■ 中間期

■ 通期



	実績 (百万円)	前年同期 (百万円)	前年同期比 (%)
レーザー事業	129	138	▲6.4
その他	1,269	1,019	+24.6
合計	1,399	1,157	+20.9

売上高 21.8億円

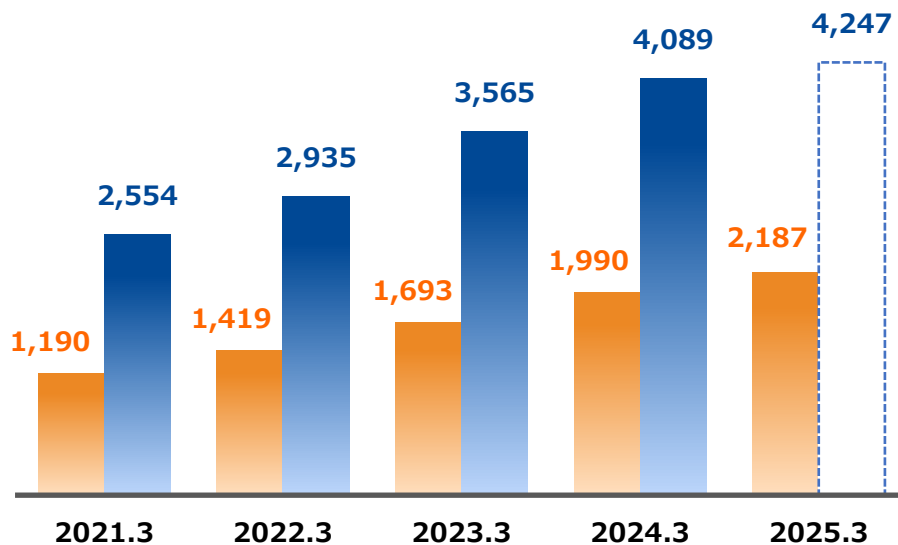
前年同期比

9.9%増 

- ストラクチャーのTAVI（経カテーテル的大動脈弁置換術）などが好調
- 頭部腹部領域も拡大

（単位：百万円）

■ 中間期 ■ 通期



	当期 (百万円)	前年同期 (百万円)	前年同期比 (%)
ストラクチャー	948	843	+12.5
頭部腹部領域	721	669	+7.8
心臓血管外科	99	91	+8.8
外科	122	116	+5.0
その他	294	269	+9.3
合計	2,187	1,990	+9.9

売上総利益 23.9億円

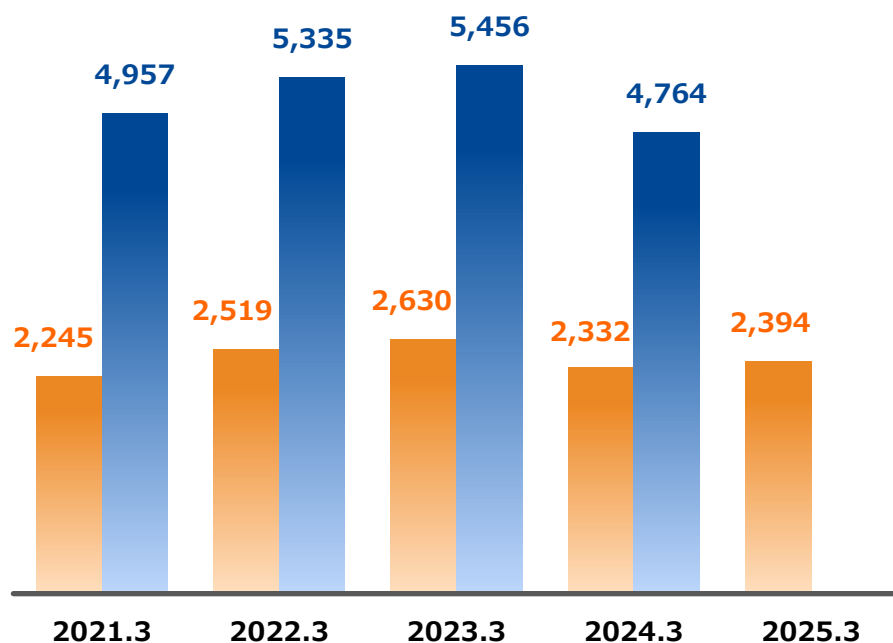
前年同期比 2.7%増

■ 粗利率10.0%（前期10.3%）

（単位：百万円）

■ 中間期

■ 通期



	実績 (百万円)	前年同期比 (%)
不整脈	2,003	+2.5
虚血	163	+9.7
その他	227	▲0.4
合計	2,394	+2.7

売上総利益（事業別）



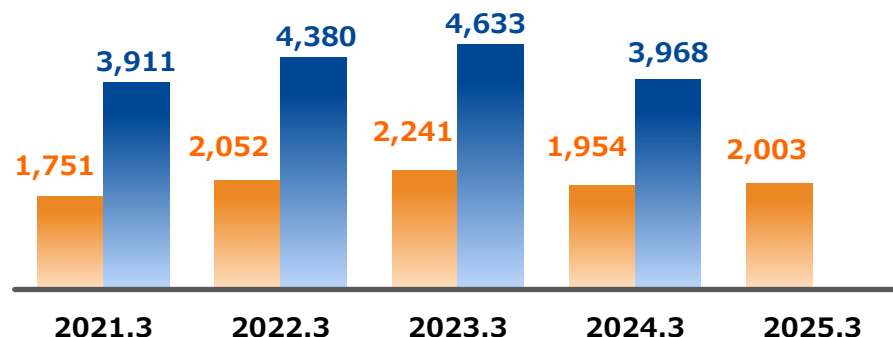
■ 中間期 ■ 通期 (単位：百万円)

不整脈事業

セグメント利益 **20.0億円**

前年同期比 **2.5%増**

- 売上高増加
- 粗利率低下（粗利率9.8%、前年同期10.0%）

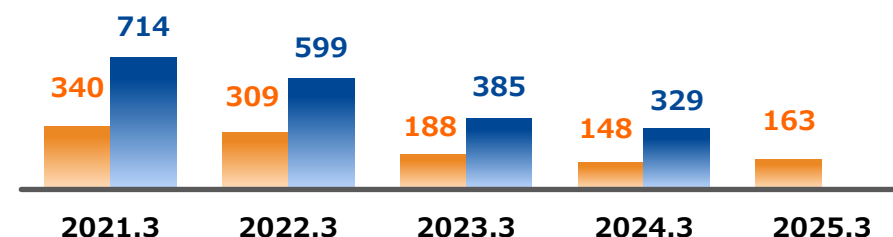


虚血事業

セグメント利益 **1.6億円**

前年同期比 **9.7%増**

- 売上高増加
- 粗利率低下（粗利率11.7%、前年同期12.9%）

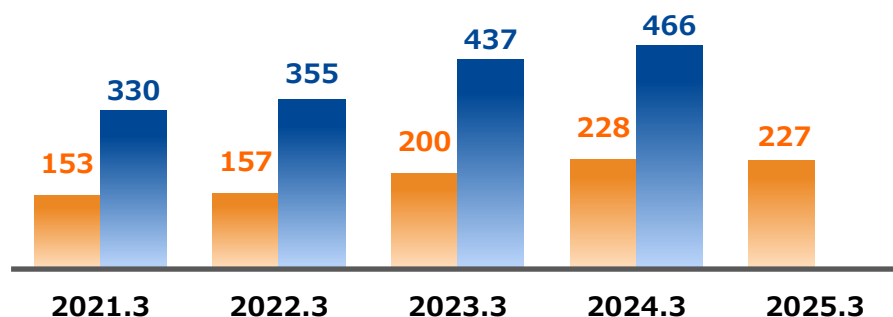


その他

セグメント利益 **2.2億円**

前年同期比 **0.4%減**

- 売上高増加
- 粗利率低下（粗利率10.4%、前年同期11.5%）

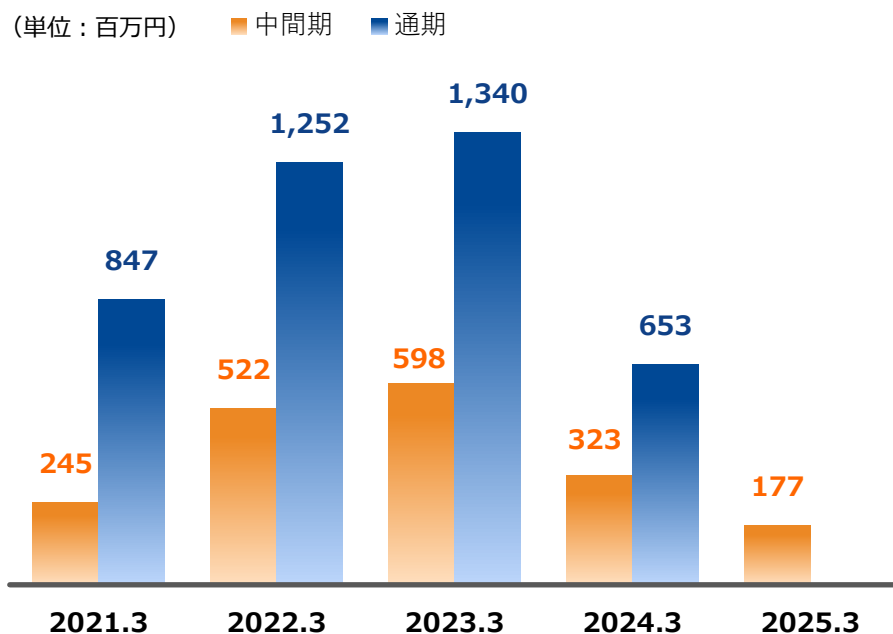


営業利益 1.7億円

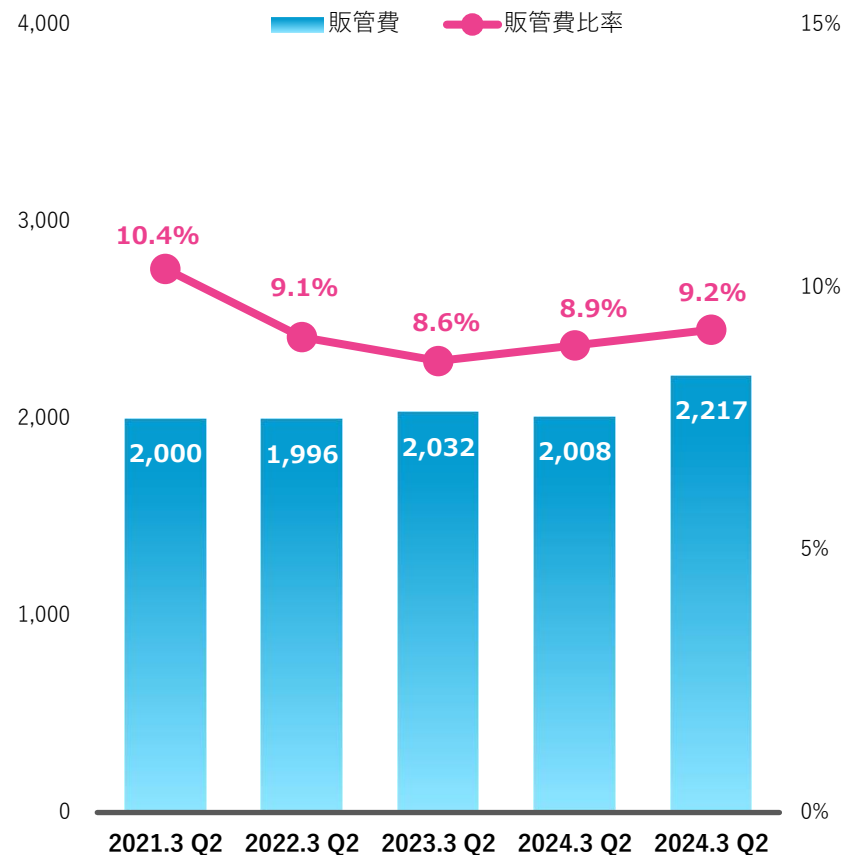
前年同期比 45.2%減

- 売上総利益 前年同期比2.7%増
- 販管費 前年同期比10.4%増
- 売上高営業利益率0.7%（前年同期1.4%）
- 売上高販管費比率9.2%（前年同期8.9%）

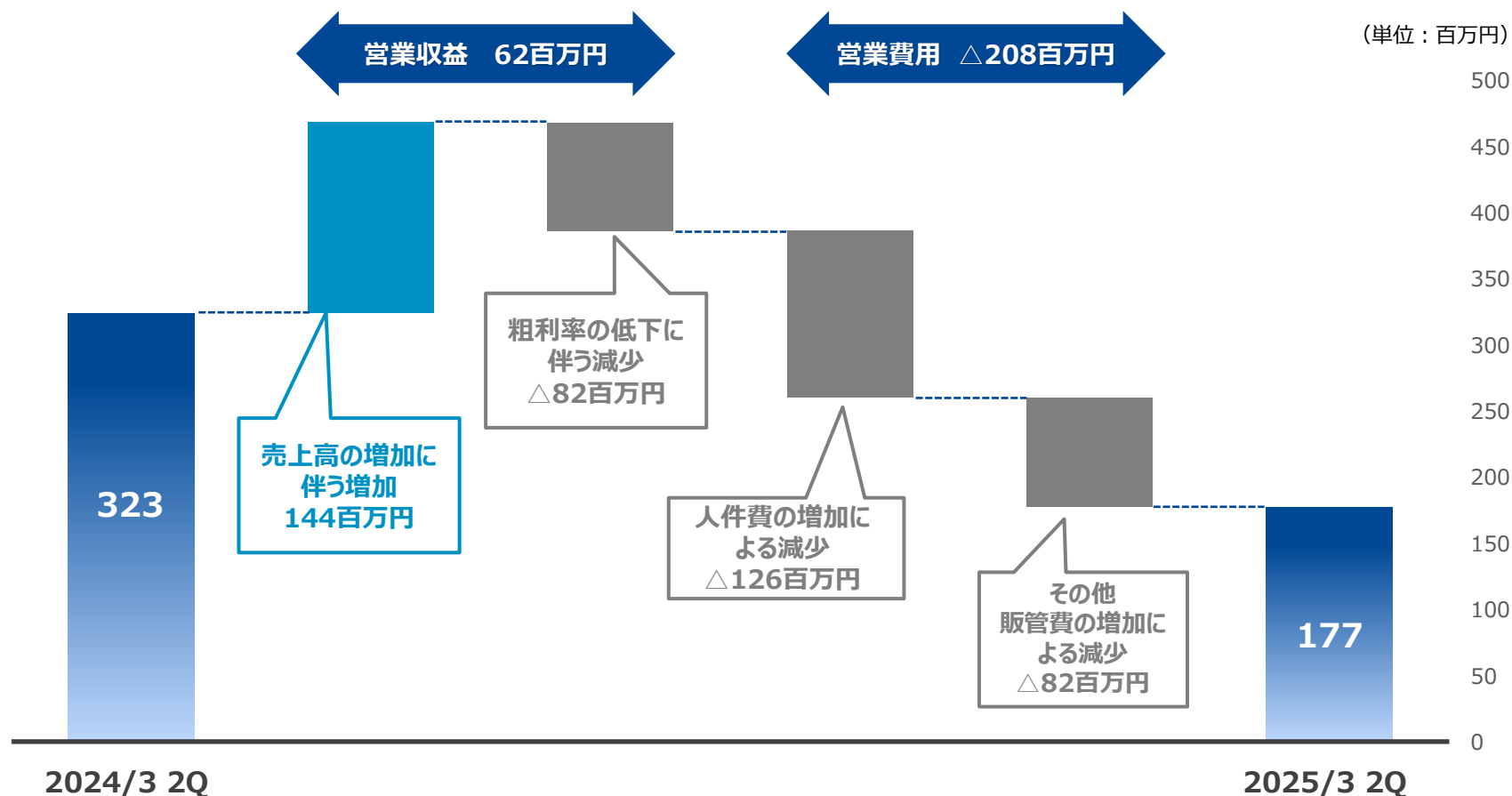
（単位：百万円）



（単位：百万円）



売上高の増加で144百万円増加、粗利率の低下で82百万円減少、人件費の増加で126百万円減少、人件費以外の販売管理費の増加で82百万円の減少



中間純利益 1.1億円

前年同期比 50.3%減 

主な営業外損益

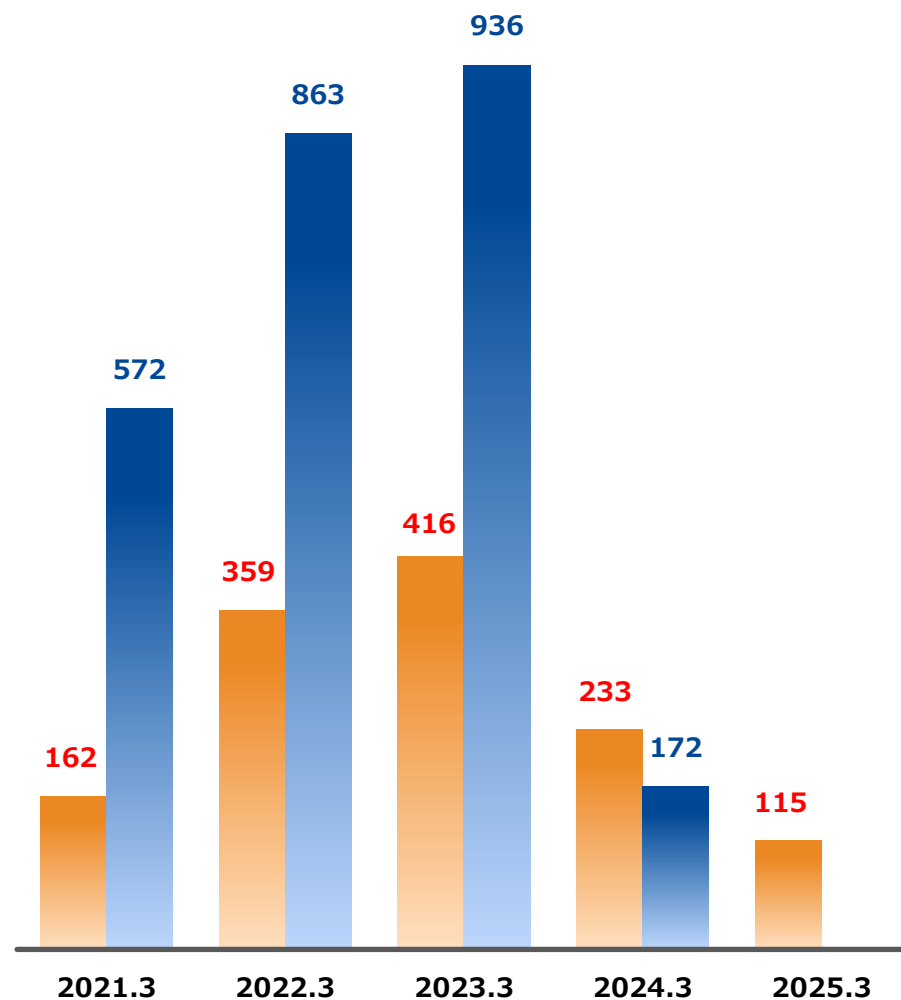
- 受取利息 1百万円
- 為替差損 2百万円

主な特別損益

- 固定資産売却益 1百万円

■ 中間期 ■ 通期

(単位：百万円)



要約貸借対照表（中間期末）



	実績 (百万円)	構成比 (%)	前期末 (百万円)	前期末比 (%)	主な増減要因
流動資産	21,297	92.7	21,156	+0.7	現預金（▲2,028百万円） 受取手形、売掛金及び契約資産（▲203百万円） 電子記録債権（+101百万円） 金銭の信託（+2,000百万円） 商品（+379百万円）
固定資産	1,675	7.3	1,522	+10.0	有形固定資産（+43百万円） 差入保証金（+75百万円） 繰延税金資産（+48百万円）
資産合計	22,972	100.0	22,678	+1.3	
流動負債	13,624	59.3	12,958	+5.1	買掛金（+452百万円） 未払法人税等（+128百万円）
固定負債	528	2.3	521	+1.2	
負債合計	14,152	61.6	13,480	+5.0	
純資産	8,819	38.4	9,198	▲4.1	
負債純資産合計	22,972	100.0	22,678	+1.3	

要約キャッシュ・フロー計算書（中間会計期間）



	実績 (百万円)	前年同期 (百万円)	当期の主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	718	▲498	税引前中間純利益（+177百万円） 減価償却費（+185百万円） 売上債権の減少（+99百万円） 棚卸資産の増加（▲420百万円） 仕入債務の増加（+447百万円）
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲222	▲134	有形固定資産の取得（▲147百万円） 差入保証金の差入（▲80百万円）
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲522	▲311	配当金の支払（▲521百万円）
現金及び現金同等物の増減額 （▲は減少）	▲28	▲937	
現金及び現金同等物の期首残高	7,489	8,614	
現金及び現金同等物の中間期末 残高	7,460	7,676	

3

2025年3月期の見通し

（単位：百万円）

売上高 486.1億円

前期比

6.0 %増

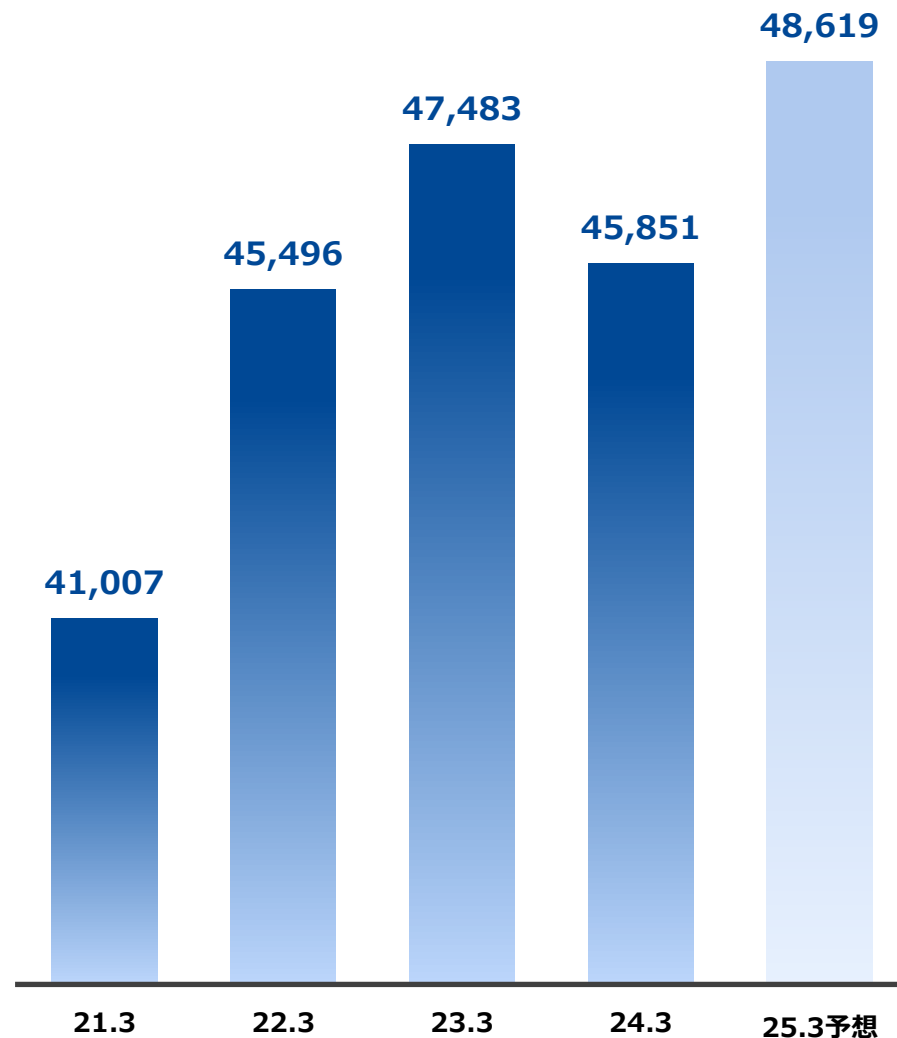


- 全国展開、施設拡大、シェアUP、品目拡大による売上増加を見込む
- 38期にあった主要な取引先施設の一部の喪失を39期は見込まない
- RAQUOSの拡販を見込む

不整脈事業 41,764百万円 6.3%増

虚血事業 2,606百万円 6.1%増

その他事業 4,247百万円 3.9%増



業績予想（営業利益、当期純利益）

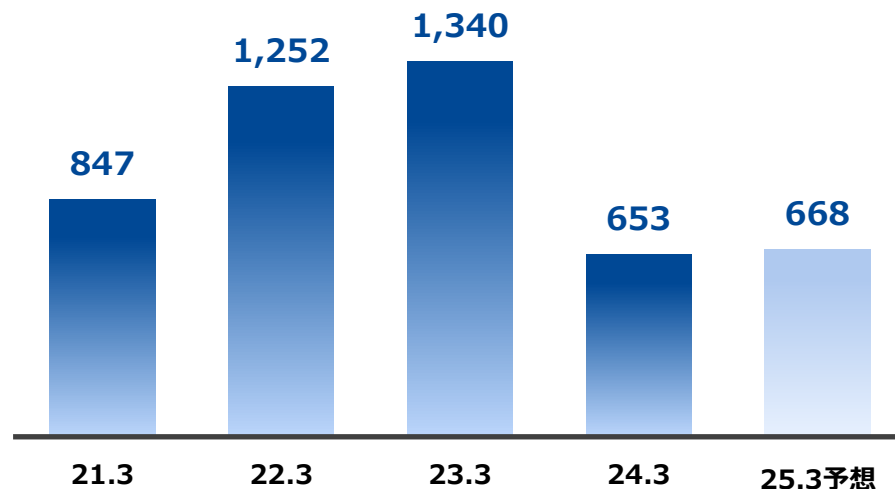


（単位：百万円）

営業利益 6.6億円

前期比 2.3%増

- 売上高、粗利益の増加を見込む
（営業利益増加要因）
- 販管費（人件費）の増加を見込む
（営業利益減少要因）



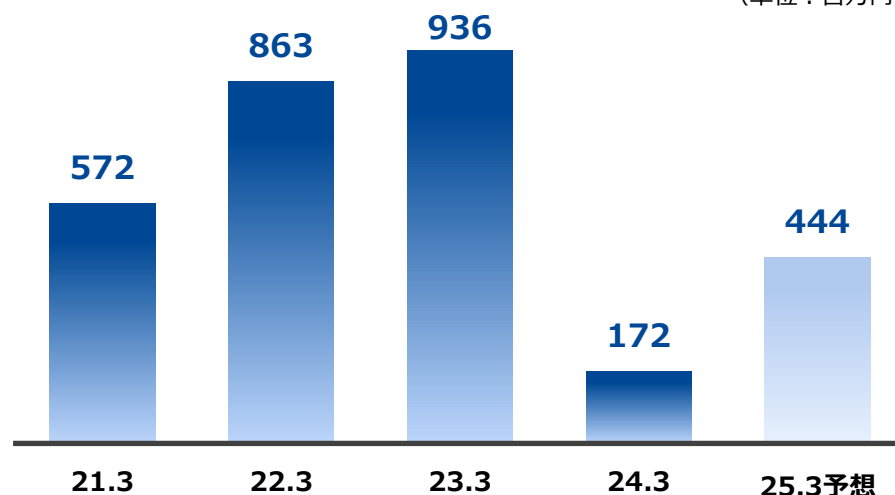
（単位：百万円）

当期純利益 4.4億円

前期比 157.1%増

予想EPS 42円56銭

前期実績 16円58銭



(単位：百万円)

	通期 (計画)	当上期 (計画)	当上期 (実績)	進捗率 (対通期)	達成率 (対上期)
売上高	48,619	23,293	24,033	49.4%	103.2%
営業利益	668	221	177	26.5%	79.9%
経常利益	668	221	176	26.4%	79.6%
純利益	444	148	115	26.1%	78.0%

期末配当金 **50.0円**

2024年3月期 **50.0円**

配当性向 **117.5%**

2024年3月期 **301.6%**

株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題として、企業価値および株式価値の向上を図ることで株主還元を継続的なつ安定的に強化する。配当については、DOE（株主資本配当率）5.0%を目途に配当額を決定する配当方針を継続。

(単位：円)

60.00

■ 配当金

● 配当性向

500.0%

48.00

50.00

50.00

400.0%

36.00

30.00

200.0%

24.00

24.00

25.00

100.0%

12.00

21.3

22.3

23.3

24.3

25.3予想

0.0%

43.2%

29.9%

33.3%

301.6%

117.5%



*Development
Venture*

X (無限の可能性)

IRについてのお問い合わせ先 財務経理部

E-Mail : ir_form@dvx.jp URL : <https://www.dvx.jp/>

本資料はディーバイエックス株式会社の理解を促す参考に資するため、作成したものであり、本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。